



H A S H I K A M I 2014年(平成26年)

No.18

8月号(August)

はしかみ 議会だより

暮らし人
地域を豊かに



7月21日、三八地区消防操法大会で本町消防団第1分団が、ポンプ車操法の部、小型ポンプ操法の部でダブル優勝。8月下旬の県大会に出場する。
(写真は、小型ポンプ操法の部で活躍する団員)



三陸復興国立公園
みちのく颯風トレイル
日本ジオパーク認定

青森県階上町議会

02 6月定例会

社会保障・税番号
制度対応に1778万円

06 ここが聞きたい

5議員が一般質問

09 議会・区長会

初の懇談会開催

12 特集 区長に聞く

野場中行政区

第4回 6月定例会

平成26年第4回定例会を6月10日開会し、6月13日閉会しました。今回の議会では、報告2件、専決処分9件、条例の一部改正1件、補正予算3件、その他3件、計18件が上程されました。審議の結果、いずれも全会一致で承認、可決しました。一般質問は、5人の議員が行いました。

マイナンバー

社会保障・税番号制度



マイナンバーは、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現する社会基盤です。

- ① 平成27年10月から、国民の皆さま一人一人に12桁のマイナンバー(個人番号)が通知されます。
- ② 平成28年1月から、マイナンバーは社会保障、税、災害対策の行政手続で利用します。
 - ・年金、雇用保険、医療保険の手続、生活保護や福祉の給付、確定申告などの税の手続、社会保険、源泉徴収事務など。
- ③ 法律で定められた目的以外でマイナンバーを利用したり、他人に提供したりすることはできません。

社会保障・税番号制度対応に1778万円

一般会計補正予算

9715万円を増額補正

▽26年度一般会計補正予算(第1号)

9715万円を増額補正、予算総額は61億5715万円。

歳入(収入)は、繰入金868万円を減額し、国庫支出金1389万円、県支出金8179万円、町債630万円等を増額しました。

歳出(支出)は、土木費1448万円、教育費1766万円等を減額し、総務費3514万円、農林水産

業費8909万円等を増額しました。

歳出の主なものは、25年度の大雪により被害を受けた農産物の生産に必要な施設の再建・修繕及び撤去を支援するため、被災農業者向け経営体育成支援事業費補助金9014万円、社会保障・税

番号制度に対応するため、住基システム等の改修等に要するシステムセットアップ委託料1778万円等です。

▽26年度漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

11万円を増額補正し、予算総額は4225万円。歳入は、一般会計繰入金11万円、歳出は、総務費11万円を増額しました。

▽26年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

670万円を減額補正し、予算総額は2億9694万円。歳入は、一般会計繰入金670万円、歳出は、総務費670万円を減額しました。

▽25年度一般会計繰越明許費繰越計算書報告

25年度に完了が困難な子ども・子育て支援システム導入事業691万円、路面性状調査事業610万円、役場前・耳ヶ吠線交通安全対策事業3045万円、白樺団地線外舗装補修事業560万円、

住金鉱業残土堆積場遺跡発掘調査事業306万円、合計5211万円を26年度へ繰越すものです。

▽25年度公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書報告

25年度に完了が困難な公共下水道事業3791万円を26年度へ繰越すものです。

▽町税条例等の一部改正

新築住宅の固定資産税の減額措置が2年間延長されます。

耐震改修が行われた既存建築物の固定資産税の減額措置が創設されました。

本年10月から法人町民

税の税割の税率が12.3%から9.7%に引き下げられます。

▽国民健康保険条例の一部改正

低所得者の軽減の判定基準額が拡充され、課税限度額の後期高齢者支援金分が14万円から16万円、介護分が12万円から14万円に引き上げられました。

▽承認企業立地計画に従って設置される施設に係る固定資産税の特例措置に関する条例の一部改正

課税免除される、産業集積の形成又は産業集積の活性化に関する基本計画の同意日が26年3月31日から28年3月31日まで、2年間延長されました。

▽手数料徴収条例の一部改正

県屋外広告物条例の改正に伴い、別表屋外広告物の部中「許可手数料」を「許可手数料及び更新手数料」に改めるものです。

旧金山沢小学校 改修工事に1億96万円



旧金山沢小学校

完成はいつ頃か。

石川 清人 議員

質疑をわづら

▽旧金山沢小学校改修工事
事請負契約の締結

1階は集会所、休憩室、体育館、物置、2階は民俗資料収蔵庫として使用するための改修工事。

契約額 1億96万円
契約者 寺下建設(株)

▽教育課長 本年12月末の予定。

▽25年度一般会計補正予算

7582万円を増額補正し、予算総額は、61億7571万円。

歳入(収入)は、国庫支出金1319万円、県支出金1405万円、町債860万円等を減額し、地方消費税交付金126

9万円、地方交付税8418万円等を増額しました。

歳出(支出)は、民生費5359万円、衛生費1906万円、教育費1246万円等を減額し、

土木費2657万円、諸支出金1億5479万円等を増額しました。

▽25年度国民健康保険特別会計補正予算

5911万円を減額補正し、予算総額は18億1584万円。

歳入(収入)は、国庫支出金2177万円等を

増額し、国民健康保険税436万円、療養給付費等交付金306万円、県支出金1388万円、共同事業交付金5279万円、繰入金757万円を減額しました。

歳出(支出)は、基金積立金3万円を増額し、

保険給付費504万円、共同事業拠出金2286万円、保健事業費25万円、予備費3099万円を減額しました。

▽25年度介護保険特別会計補正予算

43万円を減額補正し、予算総額は11億6108万円。

歳入は、保険料721万円、国庫支出金67万円等を増額し、支払基金交付金101万円、県支出金50万円、繰入金706万円を減額しました。

歳出は、基金積立金217万円を増額し、総務費122万円、保険給付費130万円、地域支援事業費9万円を減額しました。

▽25年度後期高齢者医療特別会計補正予算

141万円を減額補正し、予算総額は9622万円。

歳入は、使用料及び手数料1万円を増額し、保険料76万円、繰入金63万円、諸収入3万円を減額しました。

歳出は、総務費21万円、後期高齢者医療広域連合納付金103万円、諸支出金3万円等を減額しま

▽25年度漁業集落排水事業特別会計補正予算

40万円を減額補正し、予算総額は4445万円。

歳入は、一般会計繰入金36万円等を減額しまし

た。歳出は、予備費40万円を減額しました。

▽25年度公共下水道事業特別会計補正予算

76万円を減額補正し、予算総額は2億4402

万円。

歳入は、分担金及び負担金84万円を増額し、一般会計繰入金160万円を減額しました。

歳出は、施設管理費53万円、公債費23万円を減額しました。

▽人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めること

1人の委員の任期満了に伴い、岩谷悦子氏の推薦に同意しました。(法務大臣からの委嘱は、10月1日からの予定です。)

▽固定資産評価審査委員会の委員に選任する者につき同意を求めること



有谷 升氏

1人の委員の任期満了に伴い、有谷升氏の選任に同意しました。



岩谷悦子氏

1人の委員の任期満了に伴い、岩谷悦子氏の推薦に同意しました。(法務大臣からの委嘱は、10月1日からの予定です。)

平成25年度 各会計の補正予算額

区 分	補 正 額 → 予 算 総 額
一般会計補正予算	7,582万円 → 61億7,571万円
国民健康保険	△ 5,911万円 → 18億1,584万円
介護保険	△ 43万円 → 11億6,108万円
後期高齢者医療	△ 141万円 → 9,622万円
漁業集落排水事業	△ 40万円 → 4,445万円
公共下水道事業	△ 76万円 → 2億4,402万円

一般
質問

ここが聞きたい

6月定例会では5人の議員が登壇し、町側の考えをいただきました。要旨を掲載しています。



加藤 祐 議員

石鉢ふれあい交流館に太陽光発電蓄電システムは 町長／ハートフルプラザ・はしかみを参考に検討する

Q① 町民プールと併設の石鉢ふれあい交流館は、15年に野場中、石鉢、蒼前の3行政区願望のコミュニティ施設として開館。利用実績は、15年度209回、人数7991人が、25年度には、回数で4倍の841回、人数で2・2倍の1万8923人と、地域に根差した施設となっている。

町民プールと併設の石鉢ふれあい交流館は、15年に野場中、石鉢、蒼前の3行政区願望のコミュニティ施設として開館。利用実績は、15年度209回、人数7991人が、25年度には、回数で4倍の841回、人数で2・2倍の1万8923人と、地域に根差した施設となっている。

また、災害時の避難所に指定、活用され、停電時に対する動力発電機設備を備えているが、再生可能エネルギーとして、太陽光発電蓄電システムを提言する。

階上町は、日照時間も全国トップクラスで長く最適地域。

交流館・トレーニング室・町民プールを合わせた電気料金は、年間約3

60万円。

A①

町長 23年12月に公表された国の再生可能エネルギー等導入地方公共団体支援基金事業の中で、ハートフルプラザ・はしかみ、石鉢ふれあい交流館等での、太陽光パネルの整備を検討した。

整備に要する経費は全額補助する事業だが、補助要件に、蓄電池の設置が義務化され、設置に伴う施設の改修費は補助対象外。蓄電池は現段階では高額で、耐用年数5～10年と更新期間が短く、発電量・蓄電池等のデー

A②

町長 CO2排出削減等にも資するメリットもあり、ハートフルプラザの実績等も参考に、県のグリーンニューデール基金の

Q②

この基金事業は、23年度から27年度までの5年間。ハートフルプラザは、まだ1年経っていないが、その実績と、まちづくりの一環で、再生可能エネルギーの普及と地域経済活性化を図る住宅太陽光発電システム設置補助金の実績は。

また、避難時にはパソコンなどで情報を得るため、施設の蓄電の充実、欠かせないと思うが。

A②

保健福祉課長 ハートフルプラザは、太陽光発電20kW、蓄電池30kWを整備。24時間で10kW必要で、約3日間対応可能。発電実績は、4月1180kW、5月1287kW。

A②

町民生活課長 住宅用太陽光発電システム設置補助金は、22年より1kW当たり

Q③

相対的に、ハートフルプラザと石鉢ふれあい交流館が、似ている状況。電力の省エネ、避難施設として、充実した取り組みをしてほしい。

A③

町長 町内は、東部、中央、西部に大きな避難所を設けて、有事に備え、安心安全を確保し、いろいろな角度から検討、参考にさせてほしい。



石鉢ふれあい交流館



畑中弘實 議員

除雪の遅れ・雪害による倒木の対策は

町長／除雪機械の現有確保と業者との連携強化を図る

Q① 今年の冬は、特に2月の大雪により、住宅の損壊、牛舎や建物、ビニールハウス等の倒壊、倒木等が相次いだ。

町では、地域住民の生命、身体及び財産を災害から保護し、その被害を軽減して、郷土の保全と住民福祉の確保を目的に、県の地域防災計画に基づき「町地域防災計画」を作成した。

雪害対策では、積雪時の雪害を未然に防ぎ、その拡大を防止し、地域住民の生活を保護するため道路の交通を確保するとある。

2月の大雪では、担当者が大変苦労したと聞いているが、場所によって除雪が遅れ、何日間も不通になった道路もある。

町道沿い法面の高いところから大きな松の木が根こそぎ倒れ落ちた所もある。

住民からは雪が降る前に、危険な箇所を調査し、事前に伐採してほしいという声が多く寄せられている。

八戸市では去年の秋に法面の高いところから道路まで、両側をきれいに、倒木、除雪の対策は。

A① 町長 本町でも、日常生活に欠かすことのできない道路交通確保のため、昼夜を問わず除雪作業に当たったが、今年は特に、降り続く雪の量と重い雪質で、作業が思うようにはかどらず、交通への影響が生じてしまった。

除雪作業を妨げる要因のひとつとして、倒木が挙げられる。

除雪作業に影響を与えかねない、道路沿いの倒木の管理は、地権者の責任であり、町広報等を通してお願いしている。

迅速な除雪作業は、除雪機械の現有確保に努め、業者、区長との連携強化を図り、今年当初の大雪対策への検証を通して、除雪対策を講じていく。

Q② 地域住民の、生命、身体、財産を災害から守ることが町の使命にもかかわらず、あれだけテレビやラジオで報道され、大雪警報が出ており、わかっていたとは思いますが、その間、1回も除雪しないで、手に負えないような状態になぜなったのか。

さらに、倒木の除去作業が遅れたとは思いますが、危険な箇所、住民の安全のために早く、伐採、切り払いをして安心できるように、整備してほしい。

A② 町長 対応が不十分な点は、あらためて、お詫びする。これを、反省し検証し、連絡を十分周知させ、不安感を与えないように除雪全体の状況を把握して、計画的に幹線をメインに作業に努める。

いろいろな見ると、リースで対応し、大雪になると、リース業者から借りられず、そのために遅れたところもあるように思う。

深夜の作業でもあり、オペレーターが確保されているのか。

何力所か掛け持ちのために遅れたということもある。

Q③ 業者委託の除雪機の把握を行っているか。

委託業者が、さらに下請けに任せて、その方と話をすると、元請けに話してくれ、と言われることもあるので担当課では、しっかりと把握をして、細かく、路線も分けたらどうか。

A③ 町長 町外の業者で余裕のある車両等があるならば、協定契約等ができるかどうか、町内業者でも、借り上げの対応が可能かも含めて、対応車両の増加も検討する。



道路上に傾いている樹木



大江和夫 議員

アレルギー疾患対策は

町長／現時点でエピペンの配置はできない。

Q① 一昨年12月、東京都に住む小五女子児童が亡くなる痛ましい事故があった。原因は給食後の食物アレルギーによるショック症状だという。

アレルギー疾患に対しても食物アレルギーや気管支炎等、多岐にわたる。このようなアレルギー疾患は生活環境に係る多様かつ複合要因によって発生、重症化すると言わ

れ、アレルギー疾患に対する町の基本施策を定めることにより町民の命を守ることでできると考え

る。アナフィラキシーの症状が現れた場合、医師の治療を受けるまでの間、アドレナリン注射液の「エピペン」が有効と聞

いている。これは自己注射薬で医師の指導のもと訓練等が必要である。

昨年、わが郷土は復興国立公園になった。今後ますます増えると思われる階上岳登山者に対する蜂や有毒な虫等に刺された事故を想定し、

費用は体重の関係もあるが、これからの時期、蜂や有害な虫の活動が活

発になってくる。町内の保育所・小中学校・役場、その他の施設に配置し、尊い命を守って

いたらと思うが。

現在、国会において「アレルギー疾患対策基本法」が審議されているところである。

具体的内容が明らかに、なり次第、適宜適正に、町民に対する普及啓発や、相談窓口設置等の必要な対応をしていきたい。

アナフィラキシーの症状が現れた場合、医師の治療を受けるまでの間、アドレナリン注射液の「エピペン」が有効と聞

いている。これは自己注射薬で医師の指導のもと訓練等が必要である。

費用は体重の関係もあるが、これからの時期、蜂や有害な虫の活動が活

発になってくる。町内の保育所・小中学校・役場、その他の施設に配置し、尊い命を守って

いたらと思うが。

現在、国会において「アレルギー疾患対策基本法」が審議されているところである。

具体的内容が明らかに、なり次第、適宜適正に、町民に対する普及啓発や、相談窓口設置等の必要な対応をしていきたい。

アナフィラキシーショックの症状とエピペン

これは自己注射薬で医師の指導のもと訓練等が必要である。

費用は体重の関係もあるが、これからの時期、蜂や有害な虫の活動が活

発になってくる。町内の保育所・小中学校・役場、その他の施設に配置し、尊い命を守って

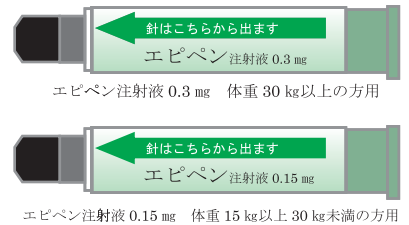
いたらと思うが。

現在、国会において「アレルギー疾患対策基本法」が審議されているところである。

具体的内容が明らかに、なり次第、適宜適正に、町民に対する普及啓発や、相談窓口設置等の必要な対応をしていきたい。



エピペンはここに効く！
■呼吸器：喘鳴、呼吸困難 ■心血管：血圧低下



アナフィラキシーショックの症状とエピペン

A① 町長 アドレナリン自己注射薬「エピペン」は、アナフィラキシーを起こす危険が高いと医師が判断した患者にのみ処方されるものであるため、現時点では、医師法や薬事法に

違反する恐れがある。現時点では、医師法や薬事法に

違反する恐れがある。現時点では、医師法や薬事法に

違反する恐れがある。現時点では、医師法や薬事法に

違反する恐れがある。現時点では、医師法や薬事法に

違反する恐れがある。現時点では、医師法や薬事法に

違反する恐れがある。現時点では、医師法や薬事法に

違反する恐れがある。現時点では、医師法や薬事法に

違反する恐れがある。現時点では、医師法や薬事法に

違反する恐れがある。現時点では、医師法や薬事法に

違反する恐れがある。現時点では、医師法や薬事法に

違反する恐れがある。現時点では、医師法や薬事法に

違反する恐れがある。現時点では、医師法や薬事法に

違反する恐れがある。現時点では、医師法や薬事法に

違反する恐れがある。現時点では、医師法や薬事法に

違反する恐れがある。現時点では、医師法や薬事法に

違反する恐れがある。現時点では、医師法や薬事法に

違反する恐れがある。現時点では、医師法や薬事法に

階上岳の土砂崩れ対策は

町長／関係機関と調整を図り万全を期す

Q② 階上岳の土砂崩れで、一時、通行止めがあったが、今回の土砂崩れは例年ない降雪量の影響だろうと考えられる。

晴山沢地内の崩壊箇所は、雪解け湧水が多く土砂排除しても、さらに崩落を招く恐れがあるため、一時通行止めとした。

これからの登山者、観光客等が国立公園ということと多数訪れることは間違いではない。

現地調査の結果「崩落箇所と接する、法枠施工箇所との一連での復旧が望ましい。」ということから、詳細な調査及び復旧工事のあり方に関して、関係機関と調整を図りながら万全を期す考えである。

国立公園という難しい制約の中で、国・県と早くに対策をとり、安心して山歩きを楽しんでほしいが。

関係機関と調整を図りながら万全を期す考えである。

関係機関と調整を図りながら万全を期す考えである。

関係機関と調整を図りながら万全を期す考えである。

関係機関と調整を図りながら万全を期す考えである。

関係機関と調整を図りながら万全を期す考えである。

関係機関と調整を図りながら万全を期す考えである。

関係機関と調整を図りながら万全を期す考えである。

関係機関と調整を図りながら万全を期す考えである。



郷州公典 議員

ごみの減量と処理費用の軽減対策は

町長／ごみ総排出量10%減、リサイクル率20%達成めざす

の節約につながる。

ごみの減量、処理費用の軽減対策は。

【家庭において】

- ①燃やせるごみの袋を、町指定の有料にして、ごみ減量意識の拡大と、処理費用の住民負担を願う。
- ②生ごみの再利用に、

生ごみ処理機導入の補助金を出して普及しては。

③粗大ごみを有料とし、収集は、各家庭に出向く。

1、2月は収集なしとするのはいかがでしょうか。

④ごみの分別の厳格化と燃やせるごみに含まれる紙ごみの減量化の啓蒙活動を行っては。

【事業所において】

⑤食品関係事業者は生ごみを自家処理し、割箸は樹脂製のものにしては。

⑥町内販売業者の全事業所でのレジ袋の有料化は。

A①

町長 本町におけるごみ排出量は、22年度に、1人1日当たり694g。

5年間の全国・県平均とも100gほど減っているが、本町は、ほぼ横ばいで推移している。

リサイクル率は15・6%と県平均の12・9%を若干上回っている。(21年度実績)

町ごみ処理基本計画では、33年度までの目標を、「22年度比で、ごみ総排出量約10%減、リサイクル率20%達成。」と定め、新たな取り組みを検討し

ている。

①ごみ袋指定有料制度の導入は、町民に新たな金銭的負担を求めるものであり、「廃棄物減量等検討委員会」で検討する。

②生ごみ処理機購入の補助金制度は、今後、調査検討することにし、水切りネットの活用等、簡単に水分の減量ができる方法で生ごみの減量に努める。

③粗大ごみの有料化と収集方法の見直しは、効果的・効果的な手法を検討していく。

④地域の「出前講座」等を利用し、減量・分別に適した環境づくりに努める。

⑤事業所のごみは、事業者が自らの責任で適正に処理することになっている。

事業者には、ごみ減量とリサイクルの推進、環境を優先した事業活動に理解と協力を求めていく。⑥商工会の協力を得て、商店等にレジ袋の無料配布廃止を呼びかけ、「マ

イレジ袋持参」の啓蒙活動を引き続き進める。

Q②

現在の八戸清掃工場の発電能力が1300kWと聞いている。

ごみ処理のコスト削減の意味からも増強できないか。広域の組合議会で提案をお願いしたい。1年間のごみ収集予定がわかるものはないか。

A②

町長 提案は承っておきたい。

A②

町民生活課長 清掃工場の発電量で、消費電力の3分の2を賄っている。

将来的には大規模な計画策定の中で検討されていくものと考えられる。

ごみ収集の年間スケジュールはパンフレット、広報、ホームページ等で知らせている。

Q①

先日、容器包装ごみの分別収集に全国市町村がかけた費用が、2010年度の推計で約2500億円に上ったと報じられた。

「容器包装リサイクル法」に基づき事業者が負担した費用は約380億円と15%ほどにとどまり、行政の負担が大きなウェイトを占めている。

わが町の25年度のごみ処理費用は、合計で1億1409万円と、多額の費用が使われている。

これは、町民が1人当たり8044円、1世帯当たり1万9804円の費用を負担したことになる。(26年3月末で)

ごみは、捨てればごみ、生かせば資源になる。

住民一人ひとりのごみの減量と工夫が、町のごみの減量とごみ処理費用



ごみの集積所



山田 恵治 議員

町の将来のまちづくりビジョンは

町長／たくさん子ども達の声がこだまする元気な町つくる

Q① 日本創生会議は、国立社会保障人口問題研究所がまとめた将来推計人口データをもとに、2040年の20代から30代の女性の数を試算、2010年と比較して、若年女性が半分以上に減る自治体（消滅可能性都市）は、全国の49・8%、896市区町村と発表。

さらに、人口1万人を割り込む523市町村に、本町も入る。

都道府県別で消滅可能性都市の割合が最も高かったのは、秋田県で96%。青森県87・5%、島根県84・2%、岩手県81・8%で、東北が上位を占める。

若年女性が減少することで、少子化がさらに進み、人口が減少することで、税金が減り、介護や医療など社会保障も厳し

さを増す。

また、学校運営の維持ができなくなるなど、自治体として機能していくことが難しくなることも指摘されている。

町では27年度から第4次総合振興計画後期5カ年計画を策定する作業に入る。

計画にあたり、少子高齢化の現状をしっかりと把握し、町のビジョンをつくらなくては。

町の人口は2010年に1万4699人だったが、2040年には、9510人まで減少し、20歳から39歳までの子どもを産む中心世代の若年女性性は1333人から451人まで66・3%の減少になると言われる。

少子化の進行を食い止めるための、子育て支援はどのように考えているか。

この10年間で、町の小中学校の児童生徒数は、500人以上減少する。

今後の適正配置のあり方も、将来を見据えて、今、取り組む必要がある。

町民と自治体がパートナーシップを組み、効率的な財政運営を進化させ、超少子化の現実を自らのことと捉え、町の将来を考えていかなければならない。

町の将来のまちづくりビジョンは。

A① 町長 後期計画は、前期計画の検証を行い、町の課題を洗い出し、31年度までの計画を策定する。

子育てのための様々な方策を展開してきたが、今年度は、小中学生の入院にかかる医療費を無料化した。

緊急雇用対策事業を実

施してきたが、継続雇用にはつながっていない。

協働のまちづくりは、地区まちづくり後期計画に今後も取り組む。

人口減少・少子化には、国の動向を注視し、町民の意見を取り入れて、後期計画に反映させる。

三陸復興国立公園に指定された自然豊かな階上岳から、たくさん子ども達の元気な声がこだまし、暮らしには豊かさを、人には思いやりを、地域には活力を与えられる元気な町にしたい。

A① 教育長 町教育委員会では、学校の適正規模は、小学校では複数学級が確保できる6学級から12学級として、地区懇談会を通して説明している。

児童生徒の減少が、今後も見込まれ、特に減少

Q② これまでも様々な少子化対策や支援を行ってきたが、人口の減少は止まらない。

政府は、骨太方針の中で、この問題は難問であり、その原因は多岐に渡っているとし、1市町村で解決するには難しい。

階上町のあり方を考え、第4次総合振興計画の後期計画は、超少子高齢化の課題を踏まえて作成してほしい。

町長の所見は。

6月29日、小学校適正配置講演会（道仏体育館）



の大きい小学校区では、昨年度から、保護者懇談会、地区懇談会を開催し、保護者や地区の方々と、話し合い、すすめていく。

A②

町長 国の骨太の方針の中で第三子以降の支援を強化していくとあるが、現実的には第一子が少ないので、そこから考え直すことも、必要と思う。

町全体では、若年者だけでなく、高齢者も含め、全町民が、健康で、生きるといふ大前提を、もつと真剣に捉え、考えて取り組んでほしい。

時間や金銭、仕事的にもある程度余裕がある高齢者は、いろんな健康づくりをしているが、若い世代、勤労世代が、非常に厳しい生活をしている。

町全体が元気になる、基本理念は協働から始まり、協働の意識、健康づくりも含めて、町の産業振興、産業構造、各分野に携わった人たちが前向きに生き、交流人口の対応など、町民一人ひとりの意識をもって取り組み、長く継続されれば、町が元気になっていくと思う。

第1回

議会・区長会懇談会

5月16日、議会と区長会との懇談会をアグリパークおおさわで開催し、議員12人・区長14人が参加しました。発言内容の要旨を掲載しています。

◆議会と区長会の連携に向けて

はじめてとなる今回は、協働のまちづくりなどの各行政区の活動や区長の意見を聴き、今後はテーマを決めて懇談会を開催することを約束しました。

木村議長 区長と議員が連携を密にすることが町の発展につながる。
西田区長 区長会と議会が、町民の両輪となり発展するよう願う。高齢化時代、区長会のあり方等、問題点を議論し協力し合っていきたい。
追越・中島区長 議会でも、町の最大の課題と考えていることは何か。

加藤副議長 議会が丸となって、町民の前に出ていき、行政の仕事に地域住民の意見が反映されるよう、議会たよりや議会報告会を継続していくことが重要と考える。
追越・中島区長 少子高齢化が進み、地域の家は減っていないのに、一人暮らしが増え、子供連が減って、地区の行事で人を集めることが大変。町の将来を考えた政策はできないか。
 企業誘致も必要だが、働く場ができて、子育ての

補助もあり、生活しやすいことが大事では。
小舟渡・濱浦区長 3・11の災害に対する清掃作業は、町内会が主催で行う事業が疑問に感じている。
耳ヶ吠西・中城区長 町内会未加入世帯に、加入を促す対策は。新規転入者への行政の対応は。
鳥屋部・小沢区長 少子高齢化が進み、奉仕作業に出る人が少なくなった。他の地区の話を参考にしたい。
晴山沢・小出区長 高齢化が進み、一人暮らしの家庭も増えて、奉仕作業などに支障が出ているが、頑張っていきたい。
石鉢・神成区長 高齢者の世帯が増えてきた。バスの通らない地区が多いので、細かく町内を巡回するコミュニティバスの運行をお願いしたい。
駅前・寅谷区長 階上駅のトイレの工事を早く着工・完成してほしい。夜民家にトイレを借りにくる人がいて困っている。

榊・日向区長 防犯灯の電気料が全額補助になり、その経費で、草刈りボランティア等の組織を作る計画である。
荒谷・笹山区長 みなさんの話を参考に、地元を持ち帰って、検討したい。
赤保内・左館区長 耳ヶ吠西行政区との間に境界線の問題があり協議中。境界を明確にし、災害発生時の連絡、避難体制を徹底したい。
 「まちおこし」に、地域の方々から事情、意見を聞き、町主産の物で、手軽なものの構築を。
金山沢・上区長 少子高齢化は、日本全体に広がっている。
 議会、区長会も協力し、討議しながら、解決し、前に進めたい。
蒼前・小室区長 防犯灯の電気料金の全額補助により、町内会費を少し下げることができた。
 防犯灯LED化費用の軽減をさらに希望する。
 町内会に引き続き加入してもらうため、パンフ

レットを作成し、町内に配布、効果が出ている。
平内・鳩区長(副会長) 少子高齢化が進み、限界集落に近い状況で、奉仕作業の人集めとが、すぐに対応できないこともあり苦労している。
耳ヶ吠東・西田区長(会長) ①少子高齢化は、具体的に対策を考えてやる大きな課題。
 ②町内会の加入促進は重点事項である。
 ③草刈りなどの奉仕作

業は、有料ボランティアを募って行っている。
百目木議員 少子高齢化、嫁不足の問題は、他市町村の対策も参考に、議会、区長、町民が一体となって考える大きな課題だ。
石川議員 道仏地区では、新規転入者に、区長、議員が出向き、町内会の説明を行っている。
木村議長 今日をスタートとして、今後、有意義な会としていきたい。



参加した議員と区長がいっしょに記念写真

議会活動

5月

- 1日 町民生委員児童委員協議会定時総会
- 9日 町文化協会総会・文化功労賞受賞者祝賀式典
- 13日 町消防団OB会総会
- 15日 町商工会通常総会懇談会
- 16日 議会・区長懇談会
- 17日 町南部芸能協会総会
- 20日 八戸圏域定住自立圏形成促進議員連盟役員会
- 20日 八戸・久慈自動車道建設促進期成同盟会定例総会
- 25日 つつじマラソン大会
- 27日 町身体障害者福祉会総会
- 27日 全国町村議会議長副議長研修会（～28日）

6月



- 5日 議会運営委員会
- 5日 郡総合体育大会結団式
- 7日 臥牛山まつり（～8日）
- 10日 第4回定例会本会議
- 10日 水道事業概要説明会

7月

- 10日 議員全員協議会
- 12日 第4回定例会本会議
- 12日 八戸地域広域市町村圏事務組合議会議員協議会
- 13日 町老人ゲートボール大会
- 13日 第4回定例会本会議
- 17日 議会運営委員会
- 17日 第5回臨時時本会議
- 23日 八戸地区連合防犯協会定時総会
- 24日 八戸地域広域市町村圏事務組合議会臨時時
- 24日 町商工会建設工業部会安全推進大会
- 27日 町小学校陸上記録会
- 28日 「中核市」講演会
- 29日 町文化協会文化まつり
- 2日 八戸・久慈自動車道建設促進期成同盟会要望（岩手要望）
- 4日 議会たより編集委員会
- 4日 町内駅伝競走大会
- 6日 主要地方道八戸大野線整備促進連絡会定例総会
- 9日 県下町村議会議員研修会
- 10日 八戸・久慈自動車道建設促進期成同盟会要望（青森要望）
- 11日 森要望



- 12日 種差海岸インフォメーションセンター・種差海岸休憩所開所記念式典
- 13日 いちご煮祭り in 東京&第5回ふるさとのはしかみ会定期総会
- 15日 八戸・久慈自動車道建設促進期成同盟会要望（仙台要望）
- 16日 八戸・久慈自動車道建設促進期成同盟会要望（東京要望）
- 17日 第4回定住自立圏の形成に関する勉強会・交流会
- 22日 夏の交通安全街頭広報活動
- 22日 新農業委員組織会懇親会
- 22日 合同交通安全大会
- 24日 主要地方道八戸大野線整備促進連絡会要望
- 25日 階上種市岳観光開発促進協議会総会
- 26日 いちご煮祭りセレモニー
- 26日 マリンフェスタ花火大会
- 29日 議会運営委員会
- 29日 第6回臨時時本会議
- 30日 町遺族会定時総会
- 30日 八戸藩開藩300年記念事業「地域つくり成果報告会」

議長交際費執行状況

番号	支払区分	支払月日	支 払 内 容	支出金額
1	会 費	6月23日	八戸地区連合防犯協会定時総会懇親会	5,000円
2	会 費	7月22日	新農業委員組織会懇親会	5,000円
3	祝 金	5月1日	町民生委員児童委員協議会定時総会	3,000円
4	祝 金	5月9日	町文化協会総会・文化功労賞受賞者祝賀式典	3,000円
5	祝 金	5月13日	町消防団OB会総会	3,000円
6	祝 金	5月15日	町商工会通常総会懇談会	3,000円
7	祝 金	5月17日	町南部芸能協会総会	3,000円
8	祝 金	5月27日	町身体障害者福祉会総会	3,000円
9	祝 金	6月29日	町文化協会文化まつり	3,000円
10	祝 金	7月13日	いちご煮祭り in 東京&第5回ふるさとのはしかみ会定期総会	10,000円
11	祝 金	7月30日	町遺族会定時総会	3,000円

県下町村議会議員研修会

7月10日、青森市で開催された「県下町村議会議員研修会」に、議員11人が参加。

- 講師 東京大学名誉教授
おおもり わたる
大森 彌 氏
- 演題 「道州制について」



「中核市」講演会

6月28日、八戸市で開催された「中核市講演会」に、議員10人が参加。

- 講師 総務省自治行政局市町村課長
小宮 大一郎 氏
- 演題 「中核市制度について」



議会だより編集委員会

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ◇今月号の編集委員(3人) | ・加藤 祐 議員
(総務財政) |
| ・畑中 弘實 議員
(教育民生) | ・森 榮吉 議員
(産業建設) |
| ◇編集委員会の開催 | |
| ・第1回 7月4日 | |
| ・第2回 7月18日 | |
| ・第3回 7月23日 | |
| ・第4回 7月29日 | |



定住自立圏講演会

7月17日、階上町で開催された「八戸圏域定住自立圏講演会」に、議員11人が参加。

- 講師 青森県南畜産振興協議会
会長 青野 正宣 氏
- 演題 「圏域の畜産振興について」



契約額 2538万円
契約者 UDTラックス(株)
八戸カスタマーセンター

め
▽物品の買入れ
除雪トラック1台を取得するた

第6回臨時会
平成26年第6回臨時会は7月29日に召集され、審議の結果、全会一致で可決されました。



土橋 美智子 氏

▽階上町農業委員会委員の推薦
議会推薦の農業委員会委員は、土橋美智子氏の推薦を決定しました。

第5回臨時会
平成26年第5回臨時会は6月17日に召集され、審議の結果、全会一致で可決されました。

美しい姿で残そう我が地域



毎週火曜日に開催している「野場中スリムクラブ」



じょうしゅう かずお 上重 一男 区長

階上町では、19の全行政区で、まちづくり計画をつくり、協働のまちづくりを進めています。

Q 区長になったきっかけは。

計画期間は、2019年度の10年間、25年度から後期計画がはじまりました。

A 階上町に定住して4カ月の頃、地区総会に出席して住民の方からの推薦を受け、会計を1期努め、その後区長に推薦されて、現在10年目です。

Q 野場中行政区はどんなところですか。

A 野場中地区は、多くが他地域からの転居者で占められ、通勤・通学・通院・買い物等を八戸市に求める住民のベッドタウン化が進んでいます。宅地造成開発が進み、生活環境の整備や道路整備などの充実が強く求められている地域です。

救急救命講習会を実施しました。

④ 防犯灯の設置や、歩道・公園等の巨木の伐採等による安全安心のまちづくりを行いました。

看板・のぼり旗を設置しました。

⑧ 子ども会と地域とが一体になって、そば植え・水難救助訓練・ラジオ体操等を行いました。

⑤ 毎年8月第2日曜日の「野場中夏祭り」では、音楽ライブ・カラオケ・盆踊り・出店等を地域住民や事業所で協力し合い、盛大に開催しています。

⑥ 地域の菜園で収穫した野菜等を販売する「ふれあい夕市」を開催しました。

Q 後期計画のおもな取り組みは。

A 前期の実施事業の継続と、新たに短命階上町の汚名返上のためにも、生活習慣病及び介護予防のためのストレッチ・自重トレーニング（自分の体重を利用し、器具を使わずに鍛えられる便利な筋力トレーニング）・有酸素運動・転倒予防体操等を毎週1回行う「野場中スリムクラブ」を実施し、地域住民のふれあいと絆を深めています。



ふれあい夕市

Q 前期計画では、どんなことを行いましたか。

A ① 地区まちづくり実行委員を発足させ、まず生活環境の整備として、下水道事業の早期実行のため、私道から町道への格上げを行いました。

② 統一された金網ごみ箱の設置により、ガラスや動物等に荒らされないごみ集積所を整備しました。

③ AED（自動体外式徐細動器）をグループホームゆとり内に設置し、

⑦ ウォーキングのできる道路を、行き交う人達との挨拶を交わしながら健康増進を図るための「ウォーキング・挨拶ロード」として指定し、

Q 議会や議会広報への意見・要望はありますか。

A 議会だよりは行政の取り組みを知ることができ、継続することをお願います。（ご協力ありがとうございました。）

編集後記

議会と町民、行政区との距離を縮め、町政に皆様の声をより多く反映させるため、2月の議会報告会に続き、5月に区長会との懇談会を開催しました。議会だよりでは、皆様にご協力いただき、できるだけわかりやすくお伝えできればと努力しています。（加藤、畑中、森）

議会傍聴者数

- 第4回定例会（平成26年6月）
 - 6月10日（3人）
 - 6月12日（6人）
 - 6月13日（3人）
- 第5回臨時会
 - 6月17日（0人）
- 第6回臨時会
 - 7月29日（0人）

議会を傍聴しませんか

次回の定例会は9月9日(火)開会予定です



議会の傍聴は、受付簿に、住所・氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴できます。